

$$2. A = \begin{pmatrix} 1 & -1 & 2 & 0 \\ 1 & 2 & -1 & 3 \\ 2 & 1 & 1 & 3 \end{pmatrix}$$

rank $f_A = \dim(W)$ により、 W の次元を $\pm \chi$ として、 $\text{rank} f_A = \text{rank} A$ であるから A を行基本変形すると、

$$\begin{array}{cccc} 1 & -1 & 2 & 0 \\ 1 & 2 & -1 & 3 \\ 2 & 1 & 1 & 3 \end{array} \rightarrow \begin{array}{cccc} 1 & -1 & 2 & 0 \\ 0 & 3 & -3 & 3 \\ 0 & 3 & -5 & 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 1 & -1 & 2 & 0 \\ 0 & 3 & -3 & 3 \\ 0 & 3 & -5 & 3 \end{array}$$

よって、 $\text{rank} A = 2$ であり、 W の次元は 2 である。

また、変形後の行列を B とすると、 B の列ベクトルは \mathbb{R}^3 の基底となる。基底は、左はしから、 $B = (B_1, B_2, B_3, B_4)$ としたとき、 B_1 と B_2 と B_3 と B_4 とは、行基本変形での基底となる列ベクトルの位置を交換したもので、 A の列ベクトル A_1, A_2 も同様に基底としておける。よって、 W の基底は、 $\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$ である。

また、 U の次元 $\dim U = n - \text{rank} A$ により、 U の次元は 2 である。

また、基底は、 $\begin{pmatrix} 1 & -1 & 2 & 0 \\ 0 & 1 & -1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ を利用して、 $x_1 + x_3 + x_4 = 0$ 、 $x_2 - x_3 + x_4 = 0$ 、 $x_3 = s$ 、 $x_4 = t$ とおくと、 $x = s \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$

3. 物体の重心の点を x 、物体の重心の点を $f(x)$ とおくと、 $f(x) = 0$ 。

$\frac{x + f(x)}{2} = \frac{d}{\|d\|} \alpha$ となる。ここで、右辺の α は $\alpha = 1$ とおくと、

α は、 x の d 方向の大きさを表す定数である。よって、 $(x, \frac{d}{\|d\|})$ とおくと、

$$\frac{x + f(x)}{2} = \frac{d}{\|d\|^2} (DC, d) d$$

$$f(x) = \frac{2}{\|d\|^2} (x, d) d - x$$

(2) $(E - A)X = 0$ とおき、 $f(x) = E - A$ とおき、 $f(x)$ の固有値を求め、 $f(x)$ が 0 となる x を求めればよい。 $x = d$ とおき、 $f(d) = d = E - A$ が $f(x)$ の固有値 d は $|E - A - dE| = 0$ となる固有値 d であり、 $f(x)$ の固有値 d は $|E - A - dE| = 0$ となる固有値 d である。

(3) $d = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ とおき、 $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}$ とおき、(2) より、

$Ad = d$ より、 $a_{11} + a_{12} + a_{13} = 1$
 $a_{21} + a_{22} + a_{23} = 1$
 $a_{31} + a_{32} + a_{33} = 1$

$f(x) = Ax = \frac{2}{3} \begin{pmatrix} x_1 + x_2 + x_3 \\ x_1 + x_2 + x_3 \\ x_1 + x_2 + x_3 \end{pmatrix} = \frac{1}{3} \begin{pmatrix} 3x_1 \\ 3x_2 \\ 3x_3 \end{pmatrix}$

$\begin{pmatrix} a_{11}x_1 + a_{12}x_2 + a_{13}x_3 \\ a_{21}x_1 + a_{22}x_2 + a_{23}x_3 \\ a_{31}x_1 + a_{32}x_2 + a_{33}x_3 \end{pmatrix} = \frac{1}{3} \begin{pmatrix} -x_1 + 2x_2 + 2x_3 \\ 2x_1 - x_2 + x_3 \\ 2x_1 + 2x_2 - x_3 \end{pmatrix}$

\Rightarrow 各成分を比較して、 $a_{11} = -\frac{1}{3}$, $a_{12} = \frac{2}{3}$, $a_{13} = \frac{2}{3}$
 $a_{21} = \frac{2}{3}$, $a_{22} = -\frac{1}{3}$, $a_{23} = \frac{1}{3}$
 $a_{31} = \frac{2}{3}$, $a_{32} = \frac{2}{3}$, $a_{33} = -\frac{1}{3}$

$\therefore A = \frac{1}{3} \begin{pmatrix} -1 & 2 & 2 \\ 2 & -1 & 1 \\ 2 & 2 & -1 \end{pmatrix}$

4(1) f が全単射 $\Leftrightarrow \det A \neq 0$ かつ $|A| = \alpha - 1 - 2\alpha + 2$

$= 1 - \alpha \neq 0$ より、 $\alpha \neq 1$

(2) $\text{Im} f_A$ は $\{ Ax \mid x \in \mathbb{R}^3 \}$ かつ $\dim(\text{Im} f_A) = \text{rank} f_A = \text{rank} A$

掃出し法を用いて、

$$\begin{array}{ccc} 1 & 1 & 2 \\ 2 & 1 & 1 \\ -1 & 0 & \alpha \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} 1 & 1 & 2 \\ 0 & -1 & -3 \\ 0 & 1 & \alpha + 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} 1 & 0 & 1 \\ 0 & -1 & -3 \\ 0 & 0 & \alpha - 1 \end{array}$$

$\alpha = 1$ のとき、 $\dim(\text{Im} f_A)$ は 2
 $\alpha \neq 1$ のとき、 $\dim(\text{Im} f)$ は 3

\rightarrow 同様に、 $\text{null} f_A = n - \text{rank} A$

よって、 $\alpha = 1$ のとき、 $\text{null} f_A = 1$
 $\alpha \neq 1$ のとき、 $\text{null} f_A = 0$

$f \in \mathbb{R}$, $\text{rank} f = \text{rank} A$

\mathbb{R}^3 の基底を B_2 とおき、 A の列ベクトル $\left(\frac{2}{3} \right)$ とおき、

$0 \cdot x_1 = -x_3 - x_4$
 $0 \cdot x_2 = x_3 - x_4$

\Rightarrow x_3 と x_4 を基底とする